

# いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

しものごうたてあと  
～下野郷館跡～



岩沼市マスコットキャラクター  
岩沼係長

第21号

2024年6月25日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL: 0223-25-2302

質問受付中!

2016(平成28)年に、五間堀川と志賀沢

川の合流する辺りで発掘調査が行われ

ました。今回は、その時の調査で見つ

た江戸時代の船着き場を紹介し



川を使って  
町に物を運ぶことができるね!

## 船着き場のつくり方

①大きく地面を掘り右の図のように杭を打ち込む。

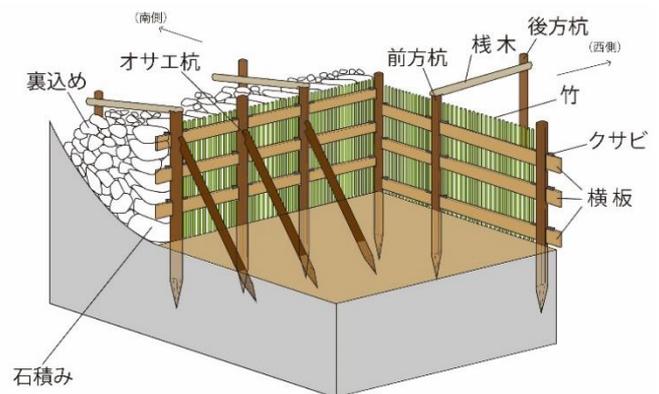
②杭の後ろに石を積む(前には30cm~50cmほどの大きな石、後ろには拳ほどの石を積む)。

③杭に細い穴を開けて、横板を取り付ける。

④きれいに切りそろえた竹をたて方向にさす。

⑤前の杭と後ろの杭をひもでつなぐ

⑥積んだ石の上に砂利をまき踏み固める。



水の力で壊れないように  
杭を深くさし、丁寧に石を  
積み上げています。



## あまり例がないつくり方

上のつくり方は、江戸時代初めのものは、大阪周辺でしか見られない独特なものです。1614(慶長19)年の大坂の陣に参加した伊達政宗の家臣たちが、大阪でつくり方を学んで造ったのかもしれませんが。教科書にも登場する大坂の陣が岩沼の歴史にも関係していると考え、とても興味深いですね。

